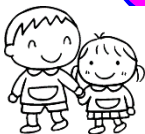


# ひまわり



★★今月のひまわり★★



大阪市委託事業  
『つどいの広場』  
保育所・今川学園

暖かい冬だなあと思っていたら、寒くなったりで例年より遅くにインフルエンザが大流行し、お兄ちゃんやお姉ちゃんの学校も学級閉鎖になったところも多いと思います。『ひまわり』でも鼻水・セキのお子さんも見られ、お子さんの体調の変化には十分気を付けてください。

『ひまわり』ではお子さん同士のかかわりが増え、年下の子に優しくおもちゃを貸してくれたり、年上の子の後をついてマネっこして遊んだり、お子さん同士の微笑ましい姿見られます。同じくお母さん方も顔見知りの方もそうでない方も気さくにお話しされています。中にはお孫さんと来られるおじいちゃん、おばあちゃんもおられ、笑顔いっぱいの『ひまわり』です。まだまだ寒い日が続きますが、あたたか〜い『ひまわり』でほっこりしてお過ごしください。お待ちしております



## “片栗粉であそんだよ”

2/18(木)に今川学園の先生と一緒に“片栗粉”であそびました。みんな何が始まるのかそわそわした中、自己紹介をして“はじまり、はじまり〜”

まずサラサラの“片栗粉”を触って感触を確認。

自分で触るのは「ちょっと・・・」の子もお母さんの手に乗せてみたり、そっーと粉の中に手を入れたりしていました。次の片栗粉に魔法の水(実は水道水ですが)少しずつ入れると・・・、トロトロ、ネバーとなってみんな不思議そうに見ていました。まぜまぜコネコネしているうちに、硬かったこの表情も緩んで、スプーンですくって“タラ〜り”とたらししてみたり、手でとってお団子をつくってみたりと、気がつくとも服や足も真っ白になっていました。“片栗粉”はいろいろな感触が楽しめてとっても不思議な『魔法の粉』でした。またおうちでも試してみてください。



## ◆◆◆ブックスタート◆◆◆

生後3ヶ月検診時に配布された“引換券”をお持ちいただくと“ひまわり”で『絵本』をお渡し致します。予約が必要ですが、読み聞かせの時間もありますので、どうぞご利用下さい。

## — ひなまつりの豆知識 —

3月3日は桃の節句、“ひなまつり”一般的に女の子の健やかな成長を祈る節句です。女の子のいる家庭ではおひな様を飾ったり、最近ではパーティーをするご家庭もあるとか・・・。そこでここで“ひなまつり”の豆知識をご紹介します

### ①ひな人形の由来

「ひな(ひいな)」は小さくてかわいいものという意味で、「人形(ひとがた)」とは“身代わり”だそうです。平安時代には出産の際、死亡率が高く、命を持っていかれないように枕元に身代わりの人形を置く風習があり、それが由来とされています。



### ②おひなさまは何歳?

おひなさまのお顔は18歳の時の顔だそうです。

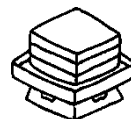
### ③ひな人形はいつから飾ればいいのか?

一般的には節分季立春を過ぎた青案友引に飾る人が多いようです。

### ④菱餅(赤・白・緑)の由来

「赤」は魔除け、「白」は清浄、「緑」は健康という意味があるそうですが、「雪どけ(白)には、新芽(緑)が芽吹いて、やがて桃の花(赤)が咲く」という風に、待ち遠しい“春”を表しているともいわれています。

昔も今も子どもの健やかな成長は親の願いだったんですね。



＝ひまわり利用曜日&時間のお知らせ＝  
毎週 月～金 AM10:00 ～ PM4:00